

いかわ

NO. 130

平成29年4月17日

発行：秋田県井川町議会

町議会だより

こどもセンター 卒園式

そつえん



3月議会

(会期・3月8日～17日)

第1回定例会	2	予算特別委員会(総括質疑)	8
第1回臨時会	4	3議員が一般質問	10
常任委員会	5	条例改正・陳情・表彰	13
予算特別委員会(予算審議)	6	私のひとこと・議会のうごき	14

平成29年度 新予算決まる

第1回定例会 3月8日～17日

町の総予算は 52億2,250万円

前年度比較0.2%増

一般会計予算額

28億5,300万円

前年度比較3.9%減

特別会計(7会計)

合計 **23億6,950万円**

◆平成29年度 各会計当初予算額

(単位：万円)

会計名	予算額	対前年増減比%
一般会計	28億5,300	△ 3.9
国民健康保険事業特別会計	6億3,490	△ 4.9
国民健康保険井川町診療所特別会計	1億3,020	△ 18.1
介護保険事業特別会計	8億1,310	△ 0.4
介護認定事業特別会計	2,760	△ 11.5
介護サービス事業特別会計	4億9,960	64.7
後期高齢者医療特別会計	4,520	0.2
下水道事業特別会計	2億1,890	0.4
計	52億2,250	0.2
(企業会計) 水道事業会計	収益的収入	1億2,837 △ 1.1
	収益的支出	1億262 △ 1.8
	資本的収入	- 0
	資本的支出	5,311 △ 12.1

歳入は町税が4億1,423万円(1.7%増)、地方交付税が15億1,700万円(2.0%増)、町債が3億500万円(5.5%減)となっている。

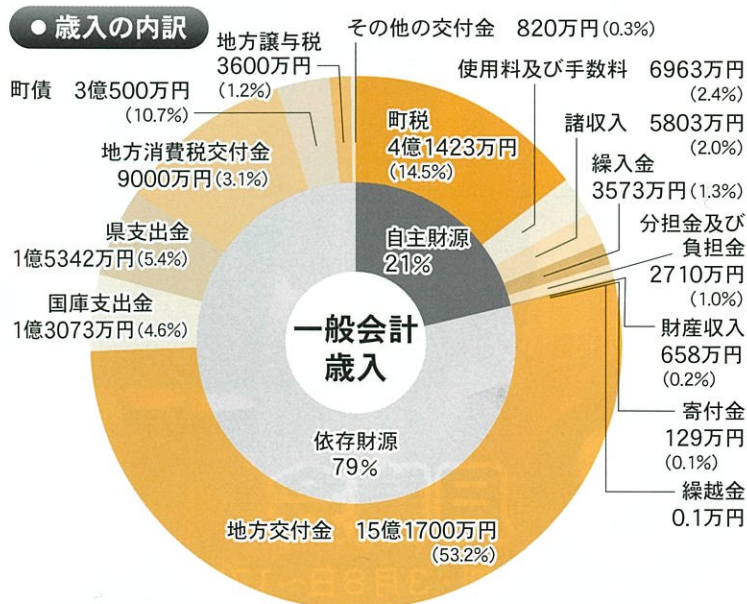
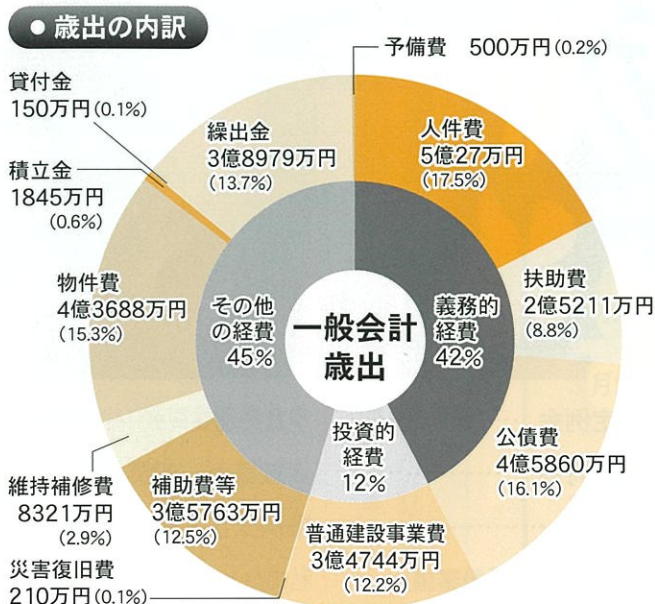
歳出は普通建設事業費が3億4,744万円(32.7%減)ですが、28年度の繰り越し事業を含めると9億7,103万円と大幅な増額。主な内容は特産品開発、中山間農地維持支援事業、少子化、子育て支援については第2子以降の保育料無料化、出生をお祝いするため「赤ちゃんギフト」5万円分の購入券の贈呈等を予算化している。その他学校施設整備、日本国花苑苑整備、生活環境、防災面等の課題に対応した予算が編成されている。

平成29年度一般会計・各特別会計当初予算、条例の制定5件、平成28年度一般会計補正、各特別会計補正予算、人事同意1件など31件を審議し、全て原案どおり可決した。

平成29年度 一般会計予算の構成

歳出 **28億5,300万円**

歳入 **28億5,300万円**



歳入・歳出 2,200万円を追加

予算総額 38億3,780万円

繰越明許費（H29年度への繰越事業）

- 公会計整備事業…………… 4,374千円
- 地方公共団体情報システム機構交付金（マイナンバーカード作成） …… 397千円
- 子育て支援施設整備事業 …… 272,914千円
- 農業基盤整備促進事業 …… 43,117千円
- 日本国花苑整備事業 …… 54,800千円
- 林道開設事業…………… 2,963千円
- 義務教育施設整備事業 …… 253,901千円

債務負担行為（将来の町の負担約束）

- 中小企業融資斡旋資金保証料補助金（平成29年度～平成38年度） …… 413千円
- 平成26年度上井河地区農地集積加速化基盤整備事業負担金（平成29年度～平成51年度） …… 3,343千円

地方債変更（町の借入金）

- ひとり親家庭等住宅整備資金貸付事業 …… 1,500千円→0千円
- 防災・安全事業 …… 45,800千円→21,200千円
- 林道開設事業 …… 6,500千円→5,900千円
- 義務教育施設整備事業（給食調理施設） …… 35,100千円→34,400千円

◆歳出の主な内容

（単位：千円）

事業名	額
人件費	
退職手当負担金	3,669
各款項目に計上している人件費（報酬・職員給等・精算）	△ 8,399
秋田県町村電算システム共同事業	△ 2,289
告知放送システム保守委託	△ 2,200
老人保護措置費負担金	△ 1,200
障害者自立支援給付費国庫負担金精算に伴う返還金	1,380
安心子育て支援基金積立金	19,000
国民健康保険事業特別会計繰出金（人件費）	△ 3,504
介護保険事業特別会計繰出金	△ 2,054
認定こども園暖房機改修工事	△ 1,190
湖東厚生病院運営費補助金	27,252
診療所特別会計繰出金	36,440
農業基盤整備促進事業費（区画拡大・暗渠排水）	43,117
機構集積協力金交付事業費補助金	△ 1,000
下水道事業特別会計繰出金	6,811
防災・安全事業費（道路改修事業）	△ 42,549
防災・安全事業費（橋梁改修事業）	△ 24,476
公債費（利子 財務省他）	△ 2,110

【原案可決】

- ◎平成28年度井川町下水道事業特別会計繰入れは、681万1千円を追加し、1億3701万3千円以内とする。
- ◎平成28年度井川町一般会計補正予算 歳入歳出2200万円を追加し、38億3780万円とする。
- ◎平成28年度井川町国民健康保険事業特別会計補正予算 歳入歳出350万4千円を減額し、6億9775万6千円とする。
- ◎平成28年度国民健康保険井川町診療所特別会計補正予算 歳入歳出2157万7千円を減額し、1億6433万円とする。
- ◎平成28年度井川町介護保険事業特別会計補正予算 歳入歳出1500万円を減額し、8億1524万5千円とする。
- ◎平成28年度井川町介護サービス事業特別会計補正予算 歳入歳出250万円を追加し、3億460万円とする。
- ◎平成28年度井川町後期高齢者医療特別会計補正予算 歳入歳出20万円を追加し、4488万6千円とする。
- ◎平成28年度井川町下水道事業特別会計補正予算 歳入歳出97万4千円を減額し、2億5255万5千円とする。
- ◎平成28年度井川町水道事業会計補正予算 収益的収入及び支出の予定額を減額する。収益的収入 148万2千円減額 収益的支出 88万5千円減額



救助を待つ白鳥

臨時会が招集され、議案、承認、同意それぞれ1件ずつ付議され審議、採決した。



山積みとなった庁舎裏排雪場

一、議案 平成28年度一般会計補正予算

①子育て交流館（仮称）建設事業につき、予算額に変更はないが、財源変更があったための補正……国助成金1715万円の増額が見込まれまた、有利財源となる地方債1710万円も借入可能としたことからこれらを追加することにし、一般財源3425万円を減額する。

二、専決処分した事件の承認

除排雪費の不足が見込まれる中、急を要するため、議会承認手続無しで町長専決で1500万円を追加補正した件の事後承認を求めるもの。

三、副町長の選任につき同意を求めることについて

29年3月6日に任期満了となることにより、現副町長遠藤兼美氏の再選任同意案が出された。

無記名投票での採決を実施し、賛成5票・反対6票。

不同意

全員可決

第一回 全員協議会

臨時会終了後、全員協議会が開催され、町当局から、29年にむけての2つの事案及び、町公共施設等の総合管理計画が示された。

一、29年度町当初予算の概略（主な新規事案）

- 役場庁舎内外壁等改修
- ゆうゆうのサウナ熱源ガスから電気に変更改修
- 中学校グラウンド及び、町民球場の改修
- さくら苑の屋根及び冷暖房施設整備
- 子育て交流館外構工事及び遊具の設置
- 保育料の第2子以降無料化及び赤ちゃんギフト券贈呈

二、子育て交流館新築工事の設計概要及び義務教育学校の給食調理施設増築の基本設計の説明があった。

三、町公共施設（建物系・インフラ系）等総合管理計画の策定（総務省が求めている）目的は

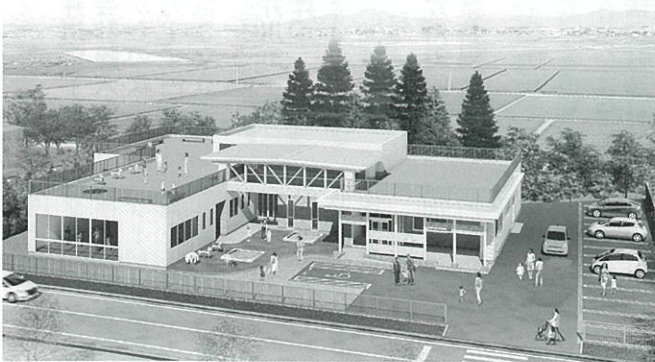
- ①公共施設の機能を適正に維持すること。

②将来の需要変化に柔軟に対応し、次世代の負担軽減を図るなどにある。また、施設全体の将来負担40年間の整備額を推計し、年当り、9.2億円と算出。直近の実績額との対比検討を実施。

とにより、新空間地が発生。これを地表面融雪することとしているが、周辺屋根の軒先雪止めネット、雪止めアングル、屋根融雪も布設することとしている。過剰設備ではないか。また、北に移動することにより駐車スペースが不足するが。

問 直近消防指導で食堂棟と給食調理施設増築棟間2m以上離れを要求され、調理棟が北方向2・735m移動すること。

答 屋根の大きさ及び積雪量から設計した様だ。駐車場については、新たに校舎側町民体育館隣地に6台分ほどを確保する。



仮称子育て交流センター（イメージ図）



こんなことを
審議しました

委員会審査

質疑応答の
主なものを掲載

総務産業

問 ふるさと納税の返礼として井川産米を送った。詳細は。

答 一万円以上の寄付の方12名に米10kgをそれぞれ贈った。清らかな水で栽培した米にしようというので大台町内栽培者1名より10kg3333円で購入。他に送料1件につき1080円を町で負担。

問 寄付金の使途指定件数はどのくらいあるか。また、学校建設指定件数は。

答 指定無しが大多数である。学校建設指定は、25年度3件、26年度1件、27、28年度は0件で件数としては少ない。

問 寺沢地内の県道ルート改良工事により、町に移譲された従前道路延長は146mだけか。寺沢地内は湾曲ヶ所が多く危険である。大区間での

改良を県に要請すべきである。

答 今回の工事は、カーブ部分を真っ直ぐとする工事であり、長年地元からの危険回避の要望に基づき県で実施した。

この外の工事となると、用地買収も絡むため難しいと思われる。

問 農地利用最適化推進委員の業務負担が多いのでは。農業委員会から要望等は出ていないか。

答 負担及び報酬額に関する意見は上がっていない。推進委員1名減の状態であるが、健康上の理由で辞退。4月からは新委員が就任する。また、活動状況としては、農地パトロールや、相談、農業委員会での現場案内など当初より徐々に機能しており、今後期待できる。

問 坂本十字路の通学路で、民有建物からの落雪事故発生が心配。対策は。

答 民有家屋の構造の間

題なので、行政としては対応が難しい。

問 坂本十字路を含め通学路の落雪に関して、防止策等対応をすべきだ。

答 今後検討していきたい。

教育民生

問 診療所特別会計への繰入金の内容は。

答 今年度は医療機器整備や建物の改修があり、起債対応を予定していたが、対象外の品目も後で明らかになり、その分を一般会計から持ち出すこととなった。また、当初予算の医療収入に対し、実収入が少ないことも要因の一つである。

問 当初予算の医療収入算出の根拠は。

答 前任千葉先生が退任されるにあたり、外の医療機関に紹介状を書いたこともあり、患者さんが他院に流れていることが

挙げられる。常勤の先生を確保できても、ただちに診療所に戻ってはこない。収入予算は、千葉先生在任時を参考に組んだため、実態と離れた。

問 介護サービス給付費の原資となる、国庫補助金は、基準補助率20%と決まっているにもかかわらず減額されている理由は。

答 国庫補助は20%の他に調整交付金として全体の5%別枠がある。この調整交付金は過去の実績



寺沢地内道路工事

予算総額52億2250万円をさぐる

（予算特別委員会
委員長 松田 弘咲）

子育て交流センター

（仮称）

町民課

出産から育児まで手厚い支援

問 男性の不妊治療が加わっていることは素晴らしいこと。女性の不妊治療状況は。また不妊治療は1回では効果がでにくい、数回で効果がでるもの。1人あたりの上限はあるのか。

課長補佐 27年度は1件、28年度は相談のみとなっている。また上限については、1回の治療の10万円を上限に年3回まで。通年で5年間である。

問 赤ちゃんギフトを1人5万円配布するところがあるが、利用できる店舗は町内業者限定という事で良いのか。

課長 町内業者限定で考えている。町内には該当業者は2社しかないが現在相談している。

ギフト内容は千円のギ

フト券50枚を予定しており、紙おむつ、ミルク、お尻ふきに限定したい。

診療所報酬収入見込みは適正か

問 診療報酬収入を多く見込んでいるようだが、どのくらいの患者数を見込んで目標達成のため何をするのか。

課長 現在1日の患者数は28人ほどだが、当初予算では1日50人程度見込んでいる。

目標達成のために、週1回の診療時間延長と循環器健診でのピロリ菌検査を追加し当該患者を診療所に対応することなどを検討している。

産業課

日本国花苑管理は

問 日本国花苑の芝生管理・樹木育成業務委託費について、高額の割に

苑内の桜が枯れていたたり芝生も弱っている。管理が雑に見受けられるが、今後徹底した管理が必要ではないか。

課長 たしかに枯れている桜が見受けられる。枯れている桜は今年植え替えを予定している。管理については、作業確認を毎週行っており必ず作業計画の提出と作業完了報告書を提出している。引き続き管理を徹底する。

住宅耐震診断委託戸数は適正か

問 住宅耐震診断委託に5戸分を見込んでいるが5戸以上の応募があった場合の対応は。

課長 全ての住宅が対象ではなく、対象住宅はS56年以前の住宅なので5戸分が適当であると考ええる。それ以上応募があれば都度検討する。

今年度新たに取り組みます！

義務教育施設整備事業

（給食）

253,901千円

30年度、県内初となる義務教育学校開校に向け、児童・生徒に給食を提供する給食棟を建設します。



井川版ネウボラ関連事業

（赤ちゃんギフト）

1,000千円



「井川版ネウボラ」の一つとして出生をお祝いして「赤ちゃんギフト」5万円分のおむつ・ミルク購入券を贈呈します。

29年度

いよいよ着工!

総務課

町内振興費補助金は適正な額か

問 町内振興費補助金は昨年と同じか。以前、町内会長会で多少見直しを要望したが検討したのか。

課長補佐 検討したが今のところ、平等割2万円、戸数割2800円で同じ。

さくら駅の運営は

問 さくら駅を利用する際、片道切符を購入するより往復切符をさくら駅で購入した方が町のためになると聞き往復切符を購入するようにしている。人口が減ると収入も比例して減っているのか。

主査 人口減もそうだが、定期券を購入する子どもの数が減れば収入も減る。

ドローン撮影の場所は

問 ドローンを利用して町内の航空撮影を計画しているようだが、町内をくまなく撮影するのか。

教育委員会

ゼロ歳児の待機児童対応は

問 こどもセンターのゼロ歳児募集定数は何人か。

教育長 定数はない。こどもセンターの90名の定数の枠組みの中で、待機児童を出さないように対応している。

問 ゼロ歳児には3人に1人の保育士が必要になる。これからはゼロ歳児対応が大事と考えるが、どう対応するのか。

教育長 対応する人員の確保は考えている。し

かしながら募集しても応募者がおらず、今後は町内外に係わらず募集し人員確保をしていく。

義務教育学校に向けた準備は万全か

問 小中一貫校になった場合、スクールバスの乗降場所の町民体育館駐車場から校舎までの通路はどこに考えているのか。

教育長 落雪等の安全を考え、今のところ体育館北側の松が生えている位置に県道歩道とは別に1.5m通路を考えている。

問 遊具を校舎中庭に設置するようだが、それでは特定の子ども、特定の時間の利用になる。もっと自由に遊べる場所にするべきでは。また、中庭では雪の心配も懸念される。

教育長 そういったことも含めて、現在検討中である。校舎外になると時間的にも安全面も考えなければならぬ。

主な新規事業

より住みよい町にするため

子育て支援施設整備事業

(仮称子育て交流センター)

272,914千円

子育て支援機能の充実、子育ての不安等の緩和により、健やかな育ちを支援します。※イメージ図はP4



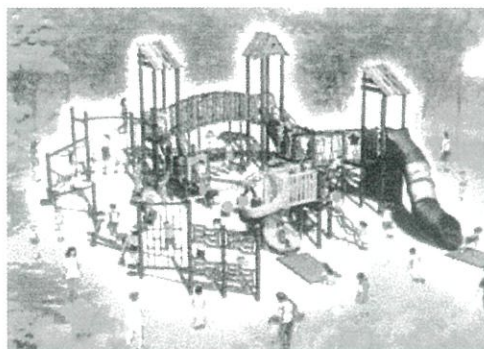
建設予定地 (旧幼稚園跡地)

日本国花苑整備事業

(遊具等)

54,800千円

町内外の子どもに親しまれている国花苑の遊具をリニューアルします。



着手!! 栗園 を展開

総括質疑



整備中の栗園

伊藤俊郎 栗園再生作

業の委託業務について84万8000円と予算がついている。50本あると聞いているがどのように3年間かけて行うのか。

栗を特産物として取り扱うのか特産品とし販売するのか。

3年間で事業がうまくいかない場合はやめてしまうのか。

町長 国花苑の栗園再生事業は仙北市で善兵衛栗を栽培している赤倉農園より技術指導をしてもらう。現在50本弱あり、

一定の収量が見込まれると思う。特産品にしたいが本格的にやるとなると組織体制をどうするかなど課題がある。技術指導をいただきながら国花苑の整備の一環としてやっていきたい。

伊藤俊郎 井川町中期財政計画の人員費の額が減少しているが職員を増やさないとということか。住民サービスが低下してはならないと考えるが。

町長 一律に職員数を増やさないとという事では

ない。退職者数なども勘案して計画を立てている。住民サービスが低下しているのであれば改善したい。

遠藤政勝 基金について。基金が多すぎるのではないか。類似する基金は整理してもよいのでは。

町長 基金の統合は考えていない。できた経緯と目的の違いがありすぐには統合できないが、ご指摘を踏まえ検討していきたい。

遠藤政勝 町内の事業所とか業者を育成する対策は予算に反映されているか。

町長 明確に目的を持って予算化したものはない。

遠藤政勝 情報公開条例をどう考えるか。小中一貫校の推進委員会の情報公開を請求した際に教育長の判断で拒否した理由は。公開できるものは公開すべきでは。

教育長 情報公開条例では6条第4項に抵触すると思われる。不完全な内容であったため公開しなかった。ある程度決まったものは公表する事は守っていく。

湊 文博 はつらつ歩こう会に変わるイベントは企画しているか。
町長 計画していない。

遠藤政勝 町内振興費を見直してほしいという願望があるが。
町長 一律に金額を上げていくと言う事も結論が出ていない。

湊 文博 消防団の出初式の参加率を上げるために、土日に変更する自治体も出てきているが、日にちの変更を検討しているか。

町長 具体的な検討の段階には至っていない。そもそも統合を踏まえ組織として今後どのように精力的に活動していくか検討する中で議論として上がる可能性があるのと考えていきたい。

湊 文博 29年から第二子2歳児以降保育料無料化になるが、2歳児以降に決めた理由は。
町長 所得制限に該当者がいなかったため所得制限は設けなかった。本来なら第二子からすべて無料化したかったが、こどもセンターの組織体制に影響を及ぼす可能性を考慮し、2歳からとした。

湊 文博 期限を設けず継続的に実施する考えは変わらないか。
町長 何年かで見直しをしなければならぬと思っているが財源は過剰債や基金を使って継続し

湊 文博 2年連続町民体育大会が中止になったが、今年も6月に開催するのか。
町長 6月に開催予定だ。延期日を設けられない事情もある。

特産品育成に 活発な議論

たいと考えるが一定の効果をもって、今後年齢や所得制限の見直しの可能性も考えられる。

湊 文博 一定の効果とは。

町長 第二子、三子と生まれ、出生率が上がる事である。

湊 文博 ふるさと納税の返礼品として贈った米の詳細について伺いたい。29年度も米なのか。

町長 山間地の米で二田一郎さんの米を購入し、12人に贈った。29年度についてはまだ決まっていないが、桜名月なども利用できないかと考えている。

湊 文博 米の名称なども検討して、できれば随時、行政報告などで決まったことを報告するのは可能か。

町長 ふるさと納税の対応方法は今後中間報告などで適切に行っていく。

石井 茂 診療所は診察人数などの見積もりも立った予算編成をするべきではないか。

町長 年間目標を立て黒字を目指して予算を組んでいる。

石井 茂 診療所を維持していくためにはもつと一般会計から繰り入れも良いのでは。

町長 28年度は機器等を入れた結果赤字部分が大きかったが、今後どれくらい患者をふやせるか、またどのくらい赤字が出てくるのかを踏まえて検討したい。

石井 茂 義務教育学校について町民ほどの程度理解していると考えるか。

教育長 意識的にメディア露出はしてきた。保護者の理解は進んできた。と考えるが一般町民に聞かしてはまだ理解できていないという指摘を是認せざるを得ないと感じている。

石井 茂 一ごみの減量化には生ごみのぼかしは有効だが最近の傾向とごみ減量対策はどうなっているか。広く周知する方法を考えてはどうか。
町民課長 町づくり懇



設備が整った診療所

談会等で、できるだけぼかしを使い生ごみの減量化のお願いをしているが、婦人会組織や団体の縮小の影響や、ぼかしの臭いの苦情等もあり増加にはなっていない。産業祭などでも根気よく周知をしていきたい。

石井 茂 有害駆除対象は熊だけか狐対策のネットなどの補助金が以前はあったが復活してはどうか。

産経課長 狐・狸の苦情もあるので検討したい。

るが除排雪ができるよう、町民に迷惑が掛からないように対策を講じていく。

白川雅孝 井川診療所には心電図を含めたレントゲン、内視鏡、電子カルテなど新しい器具や機械が入っているが、それらを十分活かすためには患者数を増やす必要があるのでは。

町長 思うように患者数は増えていない。今後PRをしていく。薬の在庫等も的確になるよう医師と相談し対応していく。

浅野義幸 中学校グラウンド改修工事に関して、今後地盤沈下が起きない保障はないのでは。

教育長 事業者とも相談の上今後は地盤沈下が起きないように施工してもらおう。

伊藤 譲 除雪費増額の理由は。
町長 除雪費は毎年補正予算で追加計上されているので。

伊藤 譲 あらかじめ交差点の排雪に関しても予算化してはどうか。

町長 除雪業者と計画の中で話し合いをしてい

工藤久兵衛 武道館の土俵整備をしっかりとすべきではないか。

公民館長 由緒、伝統ある施設でありますので関係者の皆様と話し合いながら進めていく。



一般質問



石井 茂
議員

入学準備金支給を入学前に

先行事例を見つつ検討する

問 就学援助制度における新入学児童生徒学用品費（入学準備金）は、7月に支給されている。

国からの通知もあり、県内含め全国的に入学前支給をする自治体が増えている。

入学準備費用が高くなっている。町としても入学前支給にすべきと考えるがどうか。

教育長 就学援助制度は学校教育法第19条に基づく制度で、要保護世帯と準要保護世帯が対象となる。

就学の最終確定動向が固まるのが3月であることと、予算年度区分の関係で7月に支給している。

平成29年度については関連作業を早め、4月に支給できるようにしたい。

町長 入学前支給につ

いては、他市町村の先行事例を参考にしつつ検討したい。

問 国の予算案は年度内成立が確定した。この中で、要保護世帯の入学準備金の補助単価が2倍に引き上げられている。

要保護世帯と準要保護世帯は連動するものと考ええる。この単価引き上げを準要保護世帯にも適用すべきではないか。

町長 国の予算が通ればそのようにしたい。



「井川中学校」として最後の入学式

自己肯定感を高めるには

多様な価値観・能力を育む

問 児童・生徒の自己肯定感が低下ぎみとの報道がある。

自己肯定感とは、「自分を大切にしている気持ち」であり、優れた自分を誇りに思うことではなく、「ありのままの自分」をこれぞよいと思う気持ち。「自分が自分であって大丈夫」と思う気持ちだと考える。多様な『個』すなわち他人をリスペクトすることで高められるとも考える。

井川の児童・生徒の自己肯定感、どのように見よう対応しているか。

教育長 自己肯定感と

同じ考え方で、「自分が役にたっているか、必要とされているか」の自己有用感の調査をしている。

小学6年では90%と高いが、思春期になると低下するとの結果が出ている。中学校では、一人一人に役割を与え、褒めて励まし評価する運動を全校あげて取り組み、有効な結果を得ている。また、深刻な状態になる前に、個別面談を繰り返している。

学力・スポーツ至上主義に陥ることなく、多様な価値観・能力を育てるのが教育の心髄と考える。

マイナンバーカード

発行数は206枚

問 マイナンバー制度は非常に不評だ。発行状況はどうなっているのか。

町長 平成27年度で145枚、平成28年度で61枚、累計206枚発行している。

において、番号の記載がなくても書類は受理するし罰則や不利益はまったくないとされている。町ではどういう指導をしているか。

町長 国や県に提出する書類に関しては番号の記載をお願いしている。

問 税金の申告や、社会保障関連の申請手続き



遠藤 政勝
議員

県内初の義務教育学校は 万全の体制でスタートを

職員室の拡充はできない

問 30年開校の県内初の義務教育学校は課題である狭い職員室の拡充はどうしてもできないか。

町長 小中一貫推進委員会等で課題を協議している。職員室が狭いのではないかには、問題意識は持っているが、現在の案では、できない。

建築基準法で防災区域の制約があり面積を増やせない。増築部分に控え場所を作っている。また、先生が全員集まるのは週1回朝の一時間である。職員会議は食堂を利用したい。31年には一学級減になるので、生徒の相談場所として考えている。



事業所の新設を期待

商工業振興条例の 見直しは

見直しは

見直しは考えていく

問 町の商工業振興条例は、町の産業振興及び雇用の拡大を目指す独自の振興等。条例制定は昭和64年。社会経済情勢の変化の中で見直しが必要でないか。

町長 昭和64年から施行したこの条例は、事業所を新設又増設した者に対し、奨励金を交付するものである。固定資産税相当額と常時雇用者のう

ち、町内に住所を有する者に奨励金を交付する内容である。現在までに7社が活用している。平成18年に一部改正をしている。

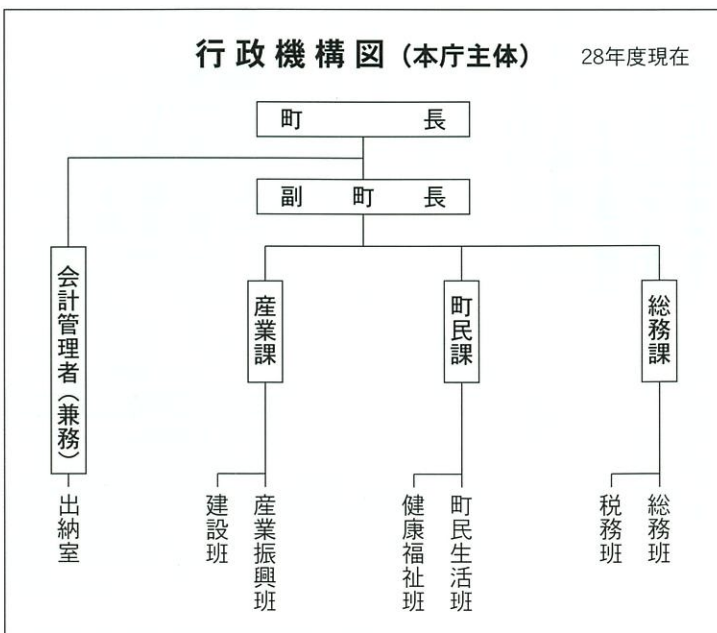
見直しについては、現在、県の企業誘致推進協議会に加入して、情報交換をしている。企業がどのようなメニューを考えているかを調査をしながら、見直しを考えていきたい。

職員が意欲の持てる 職務体制を整備すべき 平成29年度は現状どおりでいく

問 役場機構の整備は町長の事業展開する一つの姿勢ではないか。管理職が少ない。職員の研修を十分に。人材育成が大事。役場は明るく、相談に来た住民には声をかけてほしい。

町長 職員定数、課の体制、管理職の状況等はそのままよいとは思っていない。一気にはむずかしい。平成29年度は現状どおりで頑張っていく。職員の意見、声は聞く。再任用を含め一つ一つ進めていきたい。

行政機構図 (本庁主体) 28年度現在



一般質問



伊藤 譲
議員

地域おこし協力隊に応募しては 前向きに考える

問 秋田県では10市5町2村、47名が活動中。大館市では地域おこし協力隊で32名の方が移住をしている。井川町に住み、井川の良さを発見してもらい「桜名月」酒米づくりに参加し、販売までをミッションとして挑戦してもらおうのはいかがでしょうか。

町長 特産品開発としての酒米作りは、あくまでも農業所得向上に資する事で地域おこし協力隊とは結びつかないが、今後特産品開発には外からの視点も必要。前向きに考える。

問 また、首都圏のふるさと井川会との繋がりなども活用し、町長自身、トップセールスマンとして、人口減少対策を模索してはどうか。集落支援制度を活用し、合わせて地域おこし協力隊の募集をしてはどうか。

町長 地域おこし協力隊の課題は任期後の定住率が低い事だ。生業に密着しづらい募集になっている。任期後も稼げる事が必要。募集するならば、農業分野特産品開発、国花苑のPR等々大きく分けて3つになると思う。この制度は良い制度だろうと思っっている。様々な体験プログラムも行われている。民泊や家族へのホームステイ等の協力態勢が必要であり、前向きに考える。

※地域おこし協力隊とは
都市住民など地域外の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図る活動。

県外から小中学生の留学を 受け入れては 宿泊施設なども見据えながら検討する

問 秋田県は小中学生の学力は日本トップクラスであり、本町も教育の町と自負している。北秋田市合川小学校では、昨年大阪府から10名の留学生を受け入れ、教育の橋渡しをすることで地域との交流を通じ、地域活性化をめざしていると言う。井川町でも県外からの留学生を受け入れて、他地域からの受け入れで、子ども達の競争力も身に付くのではないかと。秋田には国際教養大学という、偏差値では東大に匹敵する大学があり、海外からの留学生を受け入れる事で成果を上げ、国際的な評価を受けている。義務教育校として新たな教育に取り組む町として切磋琢磨し、子ども達に競争力を身につけさせるため、教育留学生を受け入れてはどうか。

町長 今年度から秋田県の事業として北秋田市に委託した形で秋田で学ぼう教育留学推進事業がスタートしたと認識している。教育留学プログラムを実際井川町でやるのは難しい。まずは平成30年度、義務教育校をスタートさせその上でしっかりした成果を出した上で様々な動向を踏まえ考える。



増設された教室棟

条例改正

3月議会に上程された議案は、条例改正5件で、各常任委員会に付託され、本会議では全5件を原案どおり可決した。

全議案 全員一致可決

議案第2号

◆井川町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

医師の定年 69歳→70歳

議案第3号

◆井川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

配偶者に係る扶養手当

13,000円→6,500円

経過措置 平成29年度

10,000円

子に係る扶養手当

6,500円→10,000円

経過措置 平成29年度

8,000円

管理職手当 規則への委任

(定率から定額に変更)

議案第4号

◆井川町ふるさとづくり基金条例の一部を改正する条例

学校建設及び教育環境の充実に関する事業を教育環境の充実及び読書推進に関する事業に改正。

健康長寿及び健康づくりの充実に関する事業を追加。

議案第5号

◆井川町立学校条例の一部を改正する条例

井川町立井川小学校及び井川町立井川中学校の設置に代えて、義務教育学校として井川町立井川義務教育学校を設置。

井川町学校林経営条例に設定する「井川小学校及び井川中学校(10周年記念部分林)を井川義務教育学校に改正。

議案第6号

◆井川町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

道路法(政令で定める基準)の改正に伴う改正。

表彰

秋田県町村議会議長会表彰



伊藤 譲 議員
(議員在職11年以上)

2月21日、県市町村会館において、平成28年度自治功労者表彰式が行われ、多年議會議員として地方自治の振興発展に寄与された功績を讃え、本町議会から伊藤讓議員が表彰されました。

陳情

3月議会に上程された議案は、陳情2件が提出され、審査の結果1件を採択、関係機関に意見書を提出し、1件を継続審査とした。

採択…………… 全員一致

継続審査…………… 賛成多数

◎地域別最低賃金の引きあげと全国一律最賃制の実現、中小企業支援の拡充を求める陳情

◎共謀罪(テロ等組織犯罪準備罪)法案の国会提出に反対する陳情

秋田県春闘共闘懇談会

代表委員 渋谷 一

秋田県労働組合総連合

議長 星野博之

秋田県春闘共闘懇談会

代表委員 渋谷 一

秋田県労働組合総連合

議長 星野博之

私の

生涯現役のサロン仲間



新聞町内 高橋 麗子

ようやく雪が解け始め、命が芽吹く春の気配の漂う頃となり今月も皆元気にサロンに集って笑っております。我が町内の普段着ふれあいサロンは、65歳以上全員に連絡し平成24年1月に立上げました。当初は18人位の参加でしたが現在は11人位で平均年齢83歳。皆さん一病息災の状態ですが現役で田畑の仕事頑張っておられます。毎週土曜日の午前9時半頃から午後4時頃迄、サロンに来るのが楽しみで雨の日でも吹雪の日でもシルバークーラーを押して参ります。歌で喉を潤し軽運動したり手芸等縫い物したり春苗や料理、漬物の伝授と話題は尽きません。年間行事としては会食会、だまこ会、新年会、日帰り温泉旅行等で親睦を深めております。昔の地域の話聞くのも楽しみです。先人との縁を大切にし後世に伝えてゆく事も大切な感じがします。

日本人の30人に1人がなる認知症も時々話題になります。認知症の発症を防ぐ二つのポイントとして食事、運動、社会的交流との事、集えば必ず大声で笑うし無口な方でもおしゃべりになるし社会参加が活発になります。日中一人で居る方達にも声をかけてみてはおりますが、認知症は早期に治療する事で健康に生活出来る期間を延ばすことが出来ると云われております。サロンの仲間には皆明るく認知症の心配なし。 ゆっくりペースに合わせる心のゆとりを持って行動し、毎日が幸せと笑顔で語れるように地域の人達と支え合いの輪を少しずつ広げて行けたらと思っております。

議会のうごき

- 1月16日 湖東地区行政一部事務組合議会臨時会 (湖東消防署)
1月24日 農業再生協議会総会(議長・総務産業常任委員長) (大会議室)
2月1日 井川町社会福祉協議会理事会 (議長) (第1会議室)
2月4日 井川町合同厄祓・還暦祭(議長) (農村環境改善センター)
2月7日 議長・副議長・議会運営委員長会議 (役場:正副議長室)
2月21日 県町村議会議長会自治功労者表彰式(伊藤 讓 議員)及び理事会(秋田県市町村会館)
国民健康保険運営協議会(教育民生常任委員長) (第2会議室)
2月24日 第1回議会運営委員会 (役場:正副議長室)
第1回井川町議会臨時会 (役場:議場)
第1回井川町議会全員協議会 (役場:議場)
2月27日 議長・副議長・議会運営委員長会議 (役場:正副議長室)
2月28日 第2回議会運営委員会 (役場:正副議長室)
3月1日 地域包括支援センター運営協議会(教育民生常任委員長) (第3会議室)
介護保険運営協議会(教育民生常任委員長) (第3会議室)
3月8日~17日 第1回井川町議会定例会 (役場:議場)
3月8日 議会だより編集委員会 (以降4回)
3月21日 八朗湖周辺清掃事務組合議会定例会 (クリーンセンター)
3月23日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会定例会 (八郎潟町役場)
3月24日 湖東地区行政一部事務組合議会定例会 (湖東消防署)
井川町福祉会理事会(議長) (桐ヶ丘)
3月27日 湖東厚生病院運営委員会(議長) (グリーンロイヤル丸富)
3月28日 井川町社会福祉協議会理事会(議長) (第1会議室)
井川町・潟上市共有財産管理組合議会定例会 (大会議室)

編集後記



今年の大雪にはだれもがうんざりしたのではないだろうか。正月過ぎまではほとんど雪よせする事もなく去年並の楽な冬を期待して

いたが、1月半ばからの連日の雪、去年の秋、大量のカメムシ(あねこ虫)のせいかな?雪には難儀したが、町長のお祝いのニュース、地元産酒米で出来た酒

「桜名月」の販売、と

幸先の良いスタートを切った平成29年、沢山の朗報を期待したい。 会と全町盆踊りは体育館での開催となりました。 今年はずべて晴天の下での開催を願いたい。(渡部 豪士 記)